第12号 コーセン・はっぴーライフ 倶楽部通信

（会員の皆様へ）

暑い暑い酷暑の夏も季節の習いに従って過ぎ去り、さわやかな季節、実りの秋を迎えました。この夏の暑さでおもいがけず、体調を崩された方には、復調する絶好の機会かと思います。当社では、建設サービスの精神で皆様のいろいろなことに少しでもお役に立つよう準備を進めています。そして、皆様の豊かで楽しい人生実現のため全力を尽くします。これからはじまる色鮮やかな季節を十分にお楽しみください。

10月初旬の鍵掛峠から見る大山

少し色づき始めています

コスモス畑にうかぶ大山

今月のトピックス Topics

- 知っていますか？杜名の由来
- コーセンはっピーニュース！
- THE　ウンチクー石の風水なお話
- コーセンビフォーアフター
- ちょっと聞いてごしない！ Cosen

豆知識シリーズ 社名の由来

シャープ（株）

大正元年（1912）、シャープ（株）の創業者早川徳次は優秀な金芳職人として10代で独立をはたし、穴が無くてもベルトの長さを調節できる「徳尾錠」というバックルを開発しています。この発明におごらず早川は研究を続け、大正4年（1915）「早川式繰出鉛筆」を発明し、特許を取得します。当初「スクリュープロペリングペンシル」といった商品名で売り出しました。この時、商品名出の日本では売れませんでしたが、欧米で注目されその評判で国内でも爆発的に売れ出しました。この年「早川兄弟商会金属文具製作所」を設立します。シャープペンシルを、いつも芯が尖っている鉛筆という意味で「エバー・レディー・シャープペンシル」となずけました。しかし、大正12年（1923）の関東大震災により工場も全て失い、この債務弁償のため大阪の文具メーカーにシャープペンシルの販売権を譲渡しました。大正13年（1924）大阪で社員数人と「早川金属工作研究所」を設立しました。ここで早川は、なんと新分野である、日本初の挑戦します。アメリカ製の鉱石ラジオを買いこみ、分解、研究し部品もラジオを作りし、大正14年（1925）NHKの開局とともに鉱石ラジオを売りつり出し、大当たりしました。昭和元年（1926）には、彼の出発点シャープペンシルより「シャープ」というブランド名で国内はもとより、国外へも輸出を始めました。昭和17年（1942）早川電気工学（株）、昭和45年（1970）ブラシャープペンド名をシャープ（株）と改め現状にいたっています。それにしてもあのシャープペンシルの生みの親だったとは意外ですね。

コーセンはっピーニュース！

以前からはっピーライフ通信に掲載してまいりましたサントリー奥大山ブナの森工場の現場も完成に近づき現在、完成に向け社員一同休日も返上してがんばっています。建物自体はすでに完成しています。私共コーセンはその建物の周りの外構工事をしています。今回は、私共とは直接関係はないのですが、とても珍しい作業をみることができました のでそれをお伝えしようと思います。どんな作業かと言いますと、造園のお仕事でとても大きいブナの木を私たちも見たことのない機械で運び植樹をしていました。やはり世の中は広いものでこんな機械もあるんだなーと感心しながらみていました。その機械の写真を撮ってたので掲載しておきます。

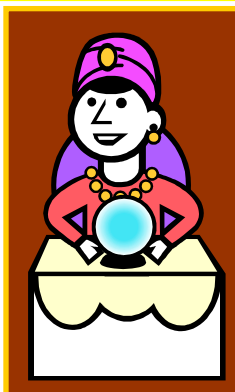
サントリー奥大山ブナの森工場!!!

遠めからのショットですが全体の雰囲気が分かると思います。

これを見たときは『すごい』の一言でした。

しかしこういう機械を考えた人ってどんなひとだったんでしょうかね？

一石の風水なお話



本号でも取り上げていますが、世の中には、悪質なリホームや夢のような投資話で私たちをだます人たちがいます。そんな話に乗らないために自分の知識や技術を高めることが一番良いのですが、世の中そう簡単にいきません。そこで悪い人にだまされない、ちかずかない方法をひとつ。風水では人を見極めるのに水晶が一番良いといわれています。この水晶（小さなものでよい）を、ベッドの枕元と足元の2箇所に置きます。こうすることであなたの周りに気の膜が張られ、不誠実な人を寄せ付けなくなります。また外出する際に、水晶を持ち歩くのもお勧めです。外にあふれる多くの邪気からあなたをまもってくれます。

（参考　東京風水倶楽部編　大成功風水術）

川之端　一石

コーセンはっピーニュース2!

大阪世界陸上に出場のジャマイカ選手団が事前合宿地として**とっとり市**で約１０日間布勢陸上競技場でトレーニングを行いました。この期間中、選手達が飲む水を江府町が提供しました。その縁を取り持ったのが当社の社長です。先日、鳥取県の体育協会よりお礼のサイン入り色紙とマスコット人形をいただきました。もちろんあの有名な１００メートル世界記録保持者の**パウエル選手**のサインもありますよ。

競技場内での贈呈式。２ℓペットボトル６００本を贈りました。

サントリー安全大会でコーセンの社員が安全表彰！！

以前にもはっピーライフ通信で紹介いたしましたサントリーの水工場現場にて8月度と10月度の安全大会でコーセンから2人の社員が安全表彰されました！この安全表彰とは日頃の作業において最も安全に作業をし、また他の社員の模範となる作業をしている作業員に送られるとても栄えある賞です！（常時２～３００人いる作業員の内から選ばれました！）
それでは、今回見事受賞しましたコーセンの誇るべき社員を紹介させていただきます！
まずは、8月度に表彰されました村尾学さんを紹介します!村尾さんは今年で46歳でテレビの野球観戦が趣味だそうです。現場や社内でいつも笑っていてコーセンのムードメーカー的存在です。
続いて10月度に表彰された谷田哲志さんを紹介します！谷田さんは今年で60歳になる機械運転（オペレーター）のスペシャリストです。谷田さんもよくジョークを言い現場を楽しい雰囲気にします。
しかし、お二人共作業中は厳しく、他の社員が不安全行動をすると真先に注意します。自分だけではなく作業員全員の安全を常に考え作業に励んでいます。こんな二人だからこそ安全表彰を受賞出来たんですね！

村尾さん

谷田さん

コーセンビフォーアフター

大山おにさび砂舗装

今号のビフォーアフターは津山市、北村様邸をご紹介いたします。

今回の施工をするにあたって北村様には２つの大きな悩みがありました。
その悩みとは、庭中に雑草が生えて手入れが間に合わない！そしてもうひとつは小さなお子様が安心して外を走り回れない！という悩みを持っていらっしゃいました。北村様は、津山市以外にも鳥取、島根に営業でたびたび訪づれ、縁あって大山おにさび砂舗装を施工されました。

アプローチ部分や築山に雑草が茂っていました。

施工後はすっきり、築山・とび石も手入れしました。
一石の担当でした。

目地材を入れながら入念に仕上げていきます。

庭木の手入れをする北村様

施工後、舗装工事にあわせて、庭木の手入れなどもご家族で行い、スッキリ明るくなって、心身共に満足です。これで子供達も外で走り回れるのでのびのび安心です。
施工後2,3週間が経過しても雑草が全く生えてこず、今では、朝起きて庭を散歩するのが楽しみになったと北村様からうれしい言葉をいただきました。

ちょっと聞いてごしない！

今回も先月号に引き続き、悪質リフォーム対策の知識をお届けします。今月号のテーマは「どのような家が狙われやすいか？」です。

狙われやすい家そのものの特徴ですが、基本的にはどんな家でも狙われます。古い家ほど狙われるのかというとそうでもなく、むしろ築年数が経っていてもあまり手を入れてない家は「この家の住人はあまり家にお金をかける気がない」と判断されるようです。それよりもリフォームをした形跡のある家の方が「ある程度家にお金をかける人だ」という点で狙われやすいと言えるでしょう。

車でもボロボロの車を気にせず長く乗り続ける人もいれば新車を数年で買い換えていく人もいるように、彼らの視点は『家が古いかどうか』ではなく、『家にお金をかけるかどうか』なのです。

訪問販売業者は、どこの工務店や大工さんでも扱っている一般的な商品は価格の相場などが出回りやすいため売りにくいので、あまり世間で扱っていない商品を売る傾向があります。ですから彼らが扱うソーラー器具、屋根材、外壁材、カーポート、ウッドデッキ、サンルーム、床下換気、玄関ポーチなどには、メーカー、商品名、マーク、形状、色などに特徴があります。そしてお互いに知っていますので、いった商品の特徴をお互いに付けられている家は格好のターゲットとなります。なぜなら、彼らに言わせるとそれらの商品は「訪問販売に引っかかりやすい」という看板を掲げているようなものであり、一度引っかかったひとはまた騙されるという傾向があるからだそうです。従って、すでに訪問販売業者の商品を購入したことのあるお宅は、今後もターゲットになりやすいということで十分注意する必要があります。

また、庭や玄関周りをきちんと掃除しきれいにしている家も狙われやすいようです。なぜならそういう人は少しの傷みや汚れも気にする傾向があるため、訪問販売業者のトークに乗りやすい、というわけです。ご参考に。

この倶楽部通信に対するご意見・ご感想がありましたら、ご一報ください。今後の倶楽部通信にどんどん取り入れてゆきたいと思います

連絡先　コーセン・はっピーライフ倶楽部事務局
ＴＥＬ　０８５９－７５－２１２４
川端まで